

こんにちはは農業委員会です

問い合わせ先 農業委員会事務局 (32)3113

春の安全作業に心がけましょう！

春の農繁期を迎え、トラクターなどの農業機械を使うことが多い季節になりました。事故を未然に防ぐため、農業機械操作時の安全確認と事故予防策の見直しを考えてみましょう。

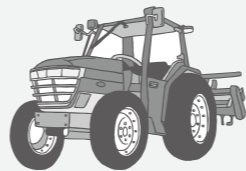
●安全確認・予防策
次に紹介する安全確認・予防策を確実にして、事故を防止しましょう。

①シートベルト着用、安全キャブ、フレームの装着

事故の際に身体が投げ出されるのを防ぎます。

②ブレーキ連結の確認

農作業前後の道路走行前に、必ずブレーキ連結を確認しましょう。連結しないと、ブレーキを踏んだときに急旋回する恐れがあります。



③低速車マークや反射板の取り付け
後続車の追突を防止するため、見えやすい場所に低速車マークや反射板を取り付け、運転前に汚れで見えなくなっていないか確認しましょう。

④点検や異物除去はエンジンを切ってから

点検や異物除去をする際は、必ずエンジンを停止し、手の巻き込みなどに注意しましょう。

⑤草刈機は、不安定姿勢と飛散物に注意

傾斜地などは、滑りやすいため、安定した足場で作業し、飛散物を防ぐヘルメットや防護メガネなどの保護具を身に着けましょう。

最後に、農作業中は、定期的に家族や仲間と連絡を取り合い、休憩もしっかり取って、みんなで安全な農作業に取り組みましょう。

全国農業新聞を購読してみませんか

全国農業新聞をご存知ですか。全国農業会議所が発行している農業専門の情報誌で、農業者を中心に広く購読されています。

●忙しくても1週間の農政ニュースがすぐわかる
経済・経営・農地・地域社会問題など、多くの情報の中から1週間の重要なニュースを取り上げ、農業者のニーズに合ったタイムリーな情報を掲載しています。

●「担い手」の経営改善に役立つ
認定農業者や農業法人、集落営農組織等地域農業の「担い手」の育成が重要視されています。これら担い手の経営改善に役立つさまざまな情報(経営技術、マーケティング、先進農家の取り組みなど)が事例を交えながら紹介されています。農業経営に役立つヒントが盛りだくさんです。

●電子版を申し込むには
電子版なら、パソコン・スマホでいつでもどこでも新聞を読むことができます。詳しくは、「あぐりオンライン」のホームページをご確認ください。

●購読料は1カ月900円
お届けは週に一度です。購読料は令和8年4月1日に改定され、900円になります。購読を希望される方は、口座番号がわかるものと金融機関の届出印をお持ちになり、農業委員会事務局までお越しください。

●食や健康など暮らしに関する話題が豊富
食の安全や健康、農業者年金、趣味、女性や若手農業者の起業など農家の暮らしに役立つ話題や農村生活を送る上で「元気になる」記事が満載です。ご家族そろって楽しむことができます。

介護のとびら

問い合わせ先
地域包括支援センター
(保健福祉課地域包括支援係)
31-2510

地域包括支援センターを利用しましょう

～高齢者の生活を支える総合相談窓口です～

地域包括支援センターは、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けることができるように、介護・福祉・保険・医療等、さまざまな面で支援を行うための総合相談窓口です。
主任ケアマネジャー、社会



私たちが対応します！

福祉士、保健師等が中心となって、皆さまからさまざまな相談や悩みを聞き、適切な機関やサービスにつなぐ等、連携して支援していきます。御代田町では、保健福祉課地域包括支援係が地域包括支援センターの業務を担っており、保健福祉課介護高齢係と一体的に対応をしています。

こんな仕事をしています

①総合相談支援業務

高齢者に関する心配ごとや悩みごと等、さまざまな相談に対応しています。介護に関すること以外に、健康や福祉、医療や生活、認知症に関すること、近所に暮らす高齢者に関する相談等もお受けします。どこに相談してよいかわからない心配ごとや悩みごと等、まずは地域包括支援センターにご相談ください。

②介護予防ケアマネジメント業務(介護予防・日常生活支援総合事業に関すること)

65歳以上のすべての方が利用できる一般介護予防事業と、地域包括支援センターで実施する基本チェックリストで生活機能の低下があると判断された方と要支援1・2と認定された方が利用できる総合事業(通所型サービスや訪問型サービス等)があります。「介護予防・日常生活支援総合事業」を利用していつまでも自分らしく暮らすことができますように支援します。

③要介護(要支援)認定の申請に関すること

介護保険サービスを利用する場合、本人や家族等が役場の窓口にて「介護保険(要介護・要支援)認定の申請」をする必要があります。申請後は

佐久広域連合での審査会で要介護状態区分が決定され、その区分に応じたサービスを利用する流れになります。地域包括支援センターでは、申請に係る初期相談に対応しています。

④権利擁護業務(高齢者の権利や財産を守ること)

将来認知症等で、高齢者の方がお金の管理や日常生活に係る契約等に自信がなくなつた場合でも、判断能力が十分でない方の権利と財産を守る「成年後見制度」の活用を支援します。

高齢者虐待防止の支援では、虐待を受けている方、その家族や介護者または近隣住民からの相談窓口として、早期発見・被害防止を図ります。消費者トラブルからも身を守り、安心して暮らせるよう相談を受けたり情報提供をしたりしています。

⑤包括的・継続的ケアマネジメント支援業務(地域のネットワークの強化と活用)

皆さまが地域で安心して暮らすことができるよう、さまざま

お知らせ

《生きがい教室》

5月8日(金)
午後1時30分～3時

場所

エコールみよた
あつもりホール
「下肢機能測定会」

講師

理学療法士 中村 崇氏
※すぐですがポイント対象事業です。

③その他

認知症に関する事業、独居・高齢者世帯の実態把握、ボランティア等の各種養成講座の開催等、さまざまな活動を行っています。

塗装工事 ちょっと待った!

国民生活センターの調べによると、住宅に関するトラブルは昨年度9820件。これは今もなお増え続けている数字です。欠陥住宅・点検商法に続き、ペンを薄めたり、工程を省いた手抜き工事など、塗装工事のトラブルも相変わらず多いです。「大手だから」「知り合いだから」など安心して頼んだのに失敗した、損した、などの声もよく聞きます。これらの被害は正しい情報を知るだけで簡単に防げるのです。そこで当会ではトラブルに巻き込まれないためのポイントをまとめた小冊子「失敗しない塗装工事7つの防衛策」を作成。内容は①見積書の比較の仕方②確実な工事をさせる魔法の一言③価格のからくりなど。今回、広報やまゆりをご覧の方先着30名様にプレゼントいたします。(同業者の請求お断り)

ご希望の方は郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上 FAX0267-22-1168またはハガキ、メールcontact@bg-homesllc.comまで。簡単に応募できます。建物長寿命化研究会 ☎0267-22-1099 または ☎070-4200-2896 〒384-0028 小諸市田町1丁目5番地3 BGホームズ合同会社(担当/堀内) HPはこちら https://bg-homesllc.com

7の防衛策

知らないと損をする小冊子「失敗しない塗装工事7つの防衛策」を30名様無料進呈!

お問い合わせ 郵送先